

連載

鉄道写真家 櫻井 寛

# 列車で行こう!

Let's go by train!

Railway-Photographer Kan Sakurai



## 第9回 「B.B.BASE」で行こう!



**B.** B.BASEとは、BOSO(房総)、BICYCLE(自転車)、BASE(基地)の略称で、最大の特徴は、車内に自転車を99台置けるサイクルスペースがあること。JRでは、自転車を列車内に持ち込む際、自転車を分解または折り畳んで専用の輪行袋に収納することが大原則だが、この列車に限っては、分解も折り畳みも不要。そのまま車内に持ち込むことができるのである。千葉県房総地方はサイクリングが盛んな地域で、多くのサイクリストの声を反映して「B.B.BASE」は誕生した。ヨーロッパ、ことに自転車王国のオランダの鉄道では自転車の持ち込みが自由かつ当たり前だけに「B.B.BASE」の登場は画期的なことなのだ。

東京の始発駅は総武本線の両国駅。今でこそ総武本線の起点は東京駅の地下ホームだが、1932年(昭和7年)までは両国駅が房総方面への始発駅で、都内では東京駅、上野駅、新宿駅、新橋

駅に次ぐ5番目に大きなターミナル駅だった。その後、総武本線は両国駅から御茶ノ水駅や東京駅まで延伸し、1982年(昭和57年)を最後に両国駅始発の房総急行「内房」「外房」「犬吠」は廃止されたのだが、その発着ホームが今日まで残っていたことから両国駅が「B.B.BASE」のターミナル駅に返り咲いたのである。運行は主に週末で、その行き先は、勝浦、銚子、安房鴨川、和田浦、千倉、館山、木更津など房総地方の人気観光地ばかり。両国駅にて愛車を「B.B.BASE」に搭載し、愛車と一緒に目的地へ。到着したら潮風そよぐ房総のサイクリングロードが待っている。ランチは海辺のレストランでシーフードもおいしい、お寿司もおいしい。肉派だったらマザー牧場のパーベキューもお勧めだ。房総半島は山海の美味も味わえるのである。

そして今宵の宿は「九十九里浜白子ユースホテル」で決まり!



鉄道写真家 櫻井寛

1954年長野県生まれ。鉄道員を目指し昭和鉄道高校に入学したが、在学中に鉄道写真の魅力にとりつかれ写真家に転向、日本大学芸術学部写真学科卒。出版社写真部に15年間勤務。90年にフォトジャーナリストとして独立し、今日に至る。93年、航空機を使わず陸路・海路のみで88日間世界一周。94年『鉄道世界夢紀行』で交通図書賞受賞。旅した国は95ヵ国、渡航回数は250回超。写真集『列車で行こう! The Railway World』(世界文化社刊)など著書多数。日本写真家協会、日本旅行作家協会会員。東京交通短期大学客員教授。

